

令和元年度事業実績について

I 事業の目的

安全で商品性の高い農産物の安定供給と生産性の向上を図るため、関係機関、団体、農薬メーカー等と密接な連携を図りながら、農薬の安全・適正使用の推進を始めとして、効率的な病虫害防除の推進、新規登録・適用拡大農薬の普及性の実証、農業航空防除及びGAPの推進等の各種事業に取り組んだ。

II 実施事業の概要

1 農薬の安全・適正使用及び効率的な防除の推進(啓発事業)

病虫害防除と農薬に関わる関係法令を遵守するとともに、植物防疫に関する情勢の変化に的確に対応し、農産物への農薬残留事故の回避及び農薬による危被害・環境汚染の防止を図った。また、農薬の安全で適正な使用による安定した農業生産及び生産環境を維持することを目的として、防除業者、農薬販売業者及びJA・関係団体等の指導員などを対象にした各種研修会を開催するなど啓発活動を実施した。消費者の食の安全・安心への関心が高まる中、人の健康へのリスクと環境負荷への軽減が求められており、「宮崎方式ICM技術」確立と普及に関する啓発活動を積極的に普及を図った。

また、病虫害発生が多様化と難防除病虫害の増加に対応した効果的な防除と安全な農薬使用を推進するため、発生予察情報の迅速で適切な提供、最新の防除技術及び農薬安全使用などに関する資料を作成し、的確に提供した。

主な実施項目

(1) 農薬管理指導士更新研修会の開催

対象者：農薬管理指導士、農産物直売所安全・安心推進員

研修会の内容：

① 農薬の安全使用と危被害防止対策

(一般社団法人宮崎県植物防疫協会)

② 病虫害と防除対策の基礎(県農業経営支援課)

③ 毒物及び劇物取締法(県中央、都城、延岡保健所)

表1 開催概要

開催月日	開催場所	参加者数
12月4日	延岡市(延岡市中小企業振興センター)	22名
12月17日	都城市(都城市高城生涯学習センター)	93名
12月18日	宮崎市(宮崎県総合農業試験場)	123名
合	計	238名

(2) 宮崎県農薬管理指導士新規養成研修の開催

開催日：令和2年1月22日

場 所：宮崎市 県総合農業試験場研修棟

対象者：農薬取扱者（JA、農薬販売店等）、防除業者、ゴルフ場職員等
70名が受講・受験し、69名が認定された。

研修会の内容：

- ① 植物防疫一般（植物防疫・農薬行政）（県農業経営支援課）
- ② 関連法令（農薬取締法、毒物及び劇物取締法）
（県農業経営支援課・医療薬務課）
- ③ 病虫害、雑草防除等（県農業経営支援課・県総合農試作物部）
- ④ 農薬管理指導士の任務（県農業経営支援課）
- ⑤ 農薬一般（農薬の種類、特性等）（県総合農試生物環境部）
- ⑥ 農薬安全性評価、各種基準（県総合農試病虫害防除・肥料検査課）
- ⑦ 農薬の安全使用、危被害防止対策（県農業経営支援課）

(3) 植物防疫研修会の開催

開催日：令和元年8月28日

場 所：新富町文化会館イベントホール

対象者：市町村、JA、経済連、農薬メーカー、農薬卸組合、農業共済連
種苗協会宮崎県支部、農薬小売商組合、県 合計 67名

研修会の内容：

- ① 講演
害虫や病害はどうして農薬に強くなるのか
ー薬剤抵抗性対策を生産者へ伝えようー
講師：日本曹達株式会社小田原研究所 山本 敦司 氏
- ② パネルディスカッション

(4) 病虫害発生予察情報の印刷・配付

32回（2,450部）

予報	12回
警報	1回
注意報	7回
特殊報	2回
防除情報	10回

(5) 農薬適正・安全対策資料及び防除対策資料の作成・配付

- ① 農薬適正・安全対策資料 500部
（農薬管理指導士研修会資料、植物防疫研修会資料）
- ② 農薬安全・適正使用啓発資料
・農薬の安全使用とはちみつの安定生産のために 1,500部
・令和2年産雑草イネ対策マニュアル 2,000部
・水稻除草剤の上手な使い方 2,000部
・かんしょ茎・根腐敗症対策ポスター 400部

- ・農薬の適正使用のためのポスター 6,000部
- ③ 令和2年版病害虫・雑草防除等指導指針 750部
- ④ 農業航空防除危被害防止・安全対策資料 50部
- ⑤ 平成30年度農薬展示ほ成績書 100部

2 農薬展示ほ設置事業

病害虫・雑草防除等指導指針や地域の防除暦策定の資料とするため、農林振興局・西臼杵支庁(農業改良普及センター)等関係機関の協力を得て、新たに登録あるいは適用が拡大された農薬を中心に展示ほを設置し、防除効果等の検討を行った。

表2 農薬展示ほ設置状況 ()は前年度

部 門	農 薬 数	展 示 箇 所 数
水 稻	39 (27)	63 (55)
茶	3 (1)	6 (2)
野 菜	18 (23)	46 (72)
花 き	4 (6)	9 (18)
果 樹	11 (6)	21 (16)
飼 料 作 物	0 (1)	0 (2)
飼 料 イ ネ	17 (13)	31 (21)
合 計	92 (77)	176 (186)

表3 展示ほ検討会の開催状況

部 門	現地検討会	成績検討会	設置検討会	合計
水稻・飼料用イネ	2 回	2 回	1 回	5 回
野 菜		1	1	2
花 き		1	1	2
果 樹		1	1	2
茶		1	1	2
飼 料 作		1	1	2
合 計	2 回	7 回	6 回	15 回

表4 令和2年版「宮崎県病害虫・雑草防除等指導指針」採用農薬数

部 門	殺虫・殺菌剤	除草剤
水 稻	15	9
飼料用イネ	10	4
茶	3	0
野 菜	39	0
花 き	9	0
果 樹	6	1
合 計	82	14

3 農薬展示ほ事故対策補てん事業

農薬展示ほ設置によって発生した事故に係る損害の補てんを行うための事業であるが、適正な管理のもとで各農薬展示ほの設置が行われた結果、事故の発生はなかった。

・補てん金支払実績 なし

4 農業航空事業

航空防除を安全かつ円滑に実施するため、事業実施主体、航空会社・農薬会社及び関係機関と危被害防止並びに効率的な事業推進について協議を行い、安全対策の徹底を図った。その結果、令和元年度は事故もなく計画どおり終了した。

(1) 防除面積

作物名	実施団体名	防除時期	防除面積	対象病害虫
水 稲	こばやし農業協同組合	9月2日	90 ha	ウンカ類、カメムシ類

(2) 危被害防止安全対策について

航空防除実施前に航空防除実施地区において、農業航空防止対策会議を7月26日に開催し、危被害の防止対策と飛散防止等の安全対策について協議した。

場 所：小林市須木庁舎

出席者：JAこばやし、JA宮崎経済連、農薬メーカー（北興化学（株）、協友アグリ（株））、小林市、宮崎県農業共済組合、西諸県農林振興局、（一社）宮崎県植物防疫協会

内 容：航空防除に伴う危被害防止対策について
航空機運航上の安全対策について
散布農薬の特性と安全対策について

(3) 令和元年度農林水産航空事業有人ヘリコプター推進事業

有人ヘリを利用した事業を安全かつ効率的に実施するため、（一社）農林水産航空協会から助成を受け、実施組織等の体制整備及び安全対策の普及啓発を行った。

交付額：JAこばやし（水稻） 40,000円
須木栗振興協議会 10,000円

内 容：危被害未然防止等会議の開催、安全対策広報指導活動、地区別座談会での資料配付 等

5 農業航空事故対策補てん事業

有人ヘリコプターによる航空防除実施によって発生した事故に係る損害の補てんを行う事業であるが、危被害防止等の安全対策には細心の注意を払い、適正な管理のもとで航空防除が実施された結果、事故の発生はなかった。

- ・補てん金支払実績 なし

6 GAP推進事業

残留農薬違反などの農薬事故を防止し、農業生産活動を安全かつ安定的に実施するために、農薬の適正使用や農薬散布機の適正管理等について、県と連携して国際水準に対応した指導員・審査員の育成を進めるとともに、県版GAPである「ひなたGAP」の普及啓蒙を図った。

主な実施事項

1) 研修実績

項 目	回数	参加人数
JGAP指導員養成研修	5	217
ひなたGAP指導員基礎基礎・現地研修	2	76
GAP現地研修（前期・後期）	4	前75・後76
ひなたGAP模擬審査研修	3	11
ひなたGAP審査員育成研修	2	10
ASIAGAP指導員基礎研修	4	100
JGAP団体認証研修	1	9
ひなたGAP団体認証研修	1	10
指導員フォローアップ研修	1	12
審査員フォローアップ研修	1	6

2) ひなたGAP現地審査

宮崎市、都城市、延岡市、日向市、日南市、串間市、西都市、国富町、高鍋町、新富町、高原町の農業者を対象に21カ所で実施

3) ひなたGAP維持審査

日南市、都城市、延岡市、日向市、新富町、高鍋町、高原町の農業者を対象に10カ所で実施

4) ひなたGAP更新審査

日向市、高鍋町の農業者を対象に2カ所で実施